

TOPICS & INFORMATION

2022JPBA 最終ランキング



藤井信人、姫路麗がそろって3冠!

2022年のJPBAレギュラーツアーは、第54回全日本女子プロ選手権(12月15~17日、東大和グランドボウル)をもって全日程を終了し、ポイント・アベレージ・獲得賞金3部門のランキングが確定した。男女のベスト10は右表のとおり。

男子は開幕戦の関西オープンをはじめ、プレイヤーズドリームマッチ、JPBA★SSSカップ、そして最終戦の全日本プロ選手権でシーズン4勝を挙げた藤井信人が初の3冠王に輝き、デビュー10周年の節目の年に大輪の花を咲かせた。

「1995年にポイントで年間ランキングが決められるようになってから、これまで3冠王は梅檀(稔)プロと川添(奨太)プロの2人だけ。われながらすごいことだと思うけど、正直実感はない。ただ、この10年でランキング1位は山本(勲)プロ、川添プロと僕の3人だけ(注: 藤井は2013年と15年に1位)。だから他の人に明け渡すわけにはいかない、あの2人に追いつき、追い越すのは僕でなければ



▲初の3冠王に輝いた藤井(左)と3期連続5度目の3冠女王・姫路

嫌だ...という気持ちは常に持っています」(藤井)

2位には9月の東海オープンで悲願の初優勝を飾った藤井の同期生・高田浩規が入り、コロナ禍で2年くりとなった2020-21年シーズン1位の山本勲(44期)は新設のウェッパイカップを制したものの、12位に後退した。

獲得賞金2位は、11月のAPA PRESENTS K&Qで早くも初勝利を挙げた2022年プロテストのトップ合格新人・大久保雄矢、アベレージ2位の安

里秀策は藤井と0.78の僅差だった。

姫路は3期連続5度目

一方の女子は、14大会で複数回優勝は2勝した川崎由意のみという大混戦のシーズンだったが、終わってみれば姫路麗が3部門すべてでトップの座を死守し、3期連続5度目の3冠女王に輝いた。

「メチャクチャうれしいです。周りから何を言われるわけでもないのに、私自身が去年の良過ぎた自分(5勝して通算30勝に

2022JPBAポイントランキングベスト10

順位	氏名(期別)	ポイント	アベレージ	獲得賞金(円)	優勝回数(今期)
1	藤井 信人 (52)	4,913	224.70	8,684,000	9(4)
2	高田 浩規 (52)	3,660	218.95	3,494,000	1(1)
3	斉藤 琢哉 (48)	3,525	221.04	4,612,500	2(1)
4	小原 照之 (32)	3,350	223.13	4,044,200	6
5	安里 秀策 (59)	3,274	223.92	2,295,000	0
6	森本 健太 (51)	3,212	221.27	2,219,600	4
7	斉藤 征哉 (47)	2,852	218.71	1,954,200	0
8	江川 司 (57)	2,824	220.03	2,238,900	1
9	川添 奨太 (49)	2,815	220.89	2,980,400	20
10	大久保雄矢 (60)	2,696	221.94	4,743,900	1(1)
11	原口 優馬 (60)	2,572	215.89	3,016,000	1(1)

到達)と比べてしまって、ひとりで勝手に辛いと感じた1年だったから、最終的に3冠で終われたのはものすごい褒美で、ホッとしました。今年は優勝者が割れて、だれにでもチャンスがあったけど、1年を通じて頑張れば、それはランキングに表れるんだという意地が見せられて誇らしいです」(姫路)

2位は東海オープンで2年ぶり5勝目を挙げた坂本かやで、アベレージでも2位。獲得賞金はAPA PRESENTS K&Qを

制した久保田彩花が2位に入り、3位に坂本が続いた(アベレージ3位は霜出佳奈)。

川崎、坂本、久保田の3名と全日本の予選24Gを同ボックスで投げ合った姫路は、彼女たちがひたひたと自分に迫ってきているのを実感して「怖気づいた」という。

「でも来年は上を見て、もう一度攻める気持ちで頑張ります」と姫路。2023年の女子プロ戦線はさらにヒートアップすること必至だ。

「BELLフェス」が復活! 2月「初心者編」4月「スポコン編」を連続開催

昨年、男子プロの新設公式戦「ウェッパイカップ」の実現に尽力し、同大会の主管運営を担った株式会社 BELL(鈴木馨代表)が2月19日(日)、間もなくリニューアルオープンする笹塚ボウル(都内渋谷区)にて4年ぶりにJPBA承認大会の「BELLフェス」を開催する。参加予定プロは森彩奈江、浅田利奈、鈴木馨、酒井美佳、川崎由意、安藤瞳、山田幸、堀井春花の8名。

今回は「初心者編」と銘打ち、「マイボール歴が浅く、大会に参加したことがないアマチュア

の初級ボウラーに競技ボウリングを経験してもらう」ことを主眼としているが、むろん中・上級者のエントリーも可能だ。

アマチュアの募集枠は66名(A・B・C3シフト各22名/先着順)で、参加費は2万円(笹塚ボウル食事券付)。エントリー及び問い合わせは、株式会社BELLの公式ホームページのみ受け付けている。

さらに、4月1日(土)には「スポコン編」と題したBELLフェス第2弾を千葉・本八幡スターレーンで開催。同大会に関しては次号でお知らせします。



日場協が「Sakura Bowlers」のインスタグラム運用を開始

若手経営者の情報共有の場として開設された「BPAJ・未来塾」のブランディング・プロジェクトが、ボウリングを楽しむ若い女性たちのコミュニティアカウントとして「Sakura Bowlers」のインスタグラム運用を開始した。今後は同サイトを若年層向けの情報発信の拠点として、イベントや雑誌とのタイアップ企画などを進めていくという。

興味のある方は「桜ボウラーズ」で検索を!



©BPAJ・未来塾

JBC佐藤直亮副会長が永眠

かねてより病氣療養中だった(公財)全日本ボウリング協会副会長の佐藤直亮氏(東京都ボウリング連盟会長)が12月20日に永眠された。享年81。同26

日には東京都昭島市の「セレモニーホール昭島 With」にて告別式がしめやかに営まれた。

謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。



トーナメントカレンダー

開催日	大会名	開催センター
〈アマチュア〉		
1月20日(金)~22日(日)	JBC第51回全日本クラブ対抗選手権	神戸六甲ボウル(兵庫)
1月27日(金)~29日(日)	JBC第40回全日本実業団都市対抗選手権	MKボウル上賀茂(京都)
2月10日(金)~12日(日)	JBC会長杯 第38回全日本年齢別選手権	キャッスルボウル福山(広島)
〈プロ・オープン〉		
1月19日(木)	ラウンドワンGCB2023予選ラウンドA	ラウンドワン博多道橋店(福岡)
1月24日(月)~25日(火)	KUWATA CUP2022→2023プロ部門	品川プリンスホテルBC&東京ポートボウル(東京)
1月31日(火)	ラウンドワンGCB2023予選ラウンドB	ラウンドワン前橋店(群馬)

最新の技術、豊富な経験を持つ **ドリラー6名在籍**

当センター専属プロボウラー 時本美津子プロ 鈴木理沙プロ 当センター専属プロボウラー キム スルギプロ 当センター専属プロボウラー 名和 秋プロ 当センター専属プロボウラー 市原 電太プロ 当センター専属プロボウラー 永野すばるプロ 当センター専属プロボウラー 江頭 善文 競技マネージャー

JR横浜線・相模原駅徒歩2分 **相模原パークレーンズ** <http://parklanes.jp/> TEL. 042-755-1110

オンラインショップのパイオニア [今すぐアクセス](#)